

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	41201
----------	-------

1. 開設大学	福山平成大学	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	保健体育教員への道		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	福祉健康学部健康スポーツ科学科 房前浩二		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 28 年 10 月 22 日 (土) ~ 平成 28 年 10 月 22 日 (土) 12 時 00 分 ~ 14 時 00 分		
個別開講日	1 回目 10/22	2 回目 /	3 回目 /
	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	30 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>鉛筆を持った教科と違い、保健体育は「結果」でなく、学ぶ間に体力・運動能力・自主性・考察力・工夫・努力・挑戦・我慢・チームワーク・礼儀・・・等々を身につける。「結果」でなくその「過程」が重要視される教科である。保健体育教員になるには、体育が好きであると同時に保健体育が「過程」で学ぶ教科であることを理解する必要がある。</p> <p>保健体育教員になるには、いくつもの関門がある。一つは大学で教員になるための単位を修得すること。二つ目は教育実習、誰の助けもなく生徒の前で 50 分間の授業を経験・体験する。大変な試練である。指導案(指導計画書)を指導教官の指導で作成することもこれも試練である。三つ目は「教員採用試験」に合格すること。大変な難関である。</p> <p>教員になっても充実した授業が出来るために種々の研修の連続である。中でも平成 21 年から始まった「教員免許更新講習」が保健体育教員も含めて 35・45・55 歳の教員に課される。30 時間の講習を受け、最後に試験が課される。合格しないと「教壇に立てない」。つまり、教員としての資格を失うことになる。</p> <p>こう考えてみると定年で退職するまで教員は「勉強の連続」大変な職業と言える。しかし、自分で計画し、指導し、その生徒たちが飛躍的に伸びる・出来て、歓声を上げ喜ぶ「瞬間」に立ち会える。これは教員にしかできない。すばらしい職業である。是非とも「志」をもって保健体育教員になってほしいものである。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 無料		
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 ( 5 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月15日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月16日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 集合場所 2号館ロビー(11:30までに集合)		
11. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.heisei-u.ac.jp/info/map.html">http://www.heisei-u.ac.jp/info/map.html</a> から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。